

中部教区檀信徒研修道場

H26.1.20~21 碧南市 衣浦グランドホテルにて



豊田上人の挨拶

講義1 三大寺上人

夜の懇親会での挨拶



岐阜・三重地区の檀信徒の方々

服部護寺会長の質問

三河地区のお上人様達です。大変お世話になりました。

講義2 林上人

講義3 三河声明師会・林上人



修了証授与の様子

現正寺の若お庫裡さんと一緒に記念撮影

中身の濃い2日間でした。知らなれいことがいっぱいあるなかで、勉強会を通して少しづつではありますが理解できました。
仏前作法では、知らなれいことがいっぱいありました。
お教文の中の文章、言葉の意味を知ることができ、お教を唱える時の気持ちが変わりました。
今後、勉強会を通して、お教を理解していきたいと切に思いました。

日蓮宗 宝雲山龍正寺(岐阜市)

檀信徒研修道場に参加して

「はい。では終わります。」
「えっ、もう終わりなの…」「早いなあ…」
こんな感じで、本当に「あっ」という間に過ぎた2日間でした。

1月20日と21日の2日間、中部教区檀信徒研修道場が碧南市の衣浦グランドホテルにて開催されました。

愛知県・長野県・三重県・岐阜県から合計61名の檀信徒が参加しました。

全国檀信徒協議会会長、池上幸保氏の講演に始まり、三大寺聡温上人、林教上上人、豊田慈證上人、声明師会の林上人の講義がありました。

自分ではお寺に参拝するようになり、ある程度時間も経っているので「知っている」と思っていたことが実際にお上人様たちの講義を聞くと実は知らないことが多かったこと、「知っている」ではなく「知っているつもり」だったことに気づかされました。

仏前作法等日頃疑問に感じていることを質問する機会を頂きました。毎日の生活の中で朝、晩のおつとめに十分な時間をとれない時があり「朝、晩のおつとめで読むお経は決まっているのでしょうか?」といった内容の質問させていただきました。自分の頭の中では「自我偈」は必ず読むだろうと思っていましたが、お上人様の回答は「御題目は必ず唱えて下さい。たったの1回でも良いですので心を込めて御題目を唱えて下さい。」



三河声明師会：林上人の講義
「仏前作法」のーコマ

というものでした。



真剣な様子で
講義を聴く参加者

このお上人様の声を聞いて「ハッ」としました。

自分は「知っているつもり」だったけど、何も分かっていなかったのでは…。ましてや、「前日仕事で帰るのが遅くなったから」等もっともらしい理由をつけて、朝起きる事が遅れた事を正当化しようとして、そして、形だけお経をあげていたのではないかと。

ちなみに御題目の意味は「お釈迦様の最高の教えである法華経の教えに従ってがんばります」という事を教えて頂きました。その他に法要の中で御題目や読経の他に勧請であったり回向なども行う理由も教えて頂きました。



会場に溢れんばかりの
参加者とその熱気

今回研修道場に参加した事で、少しだけですが日蓮宗（法華経）に対して正しい知識を持つ事ができたように思います。講義で教えていただいたことを思い出して、何よりも心を込めて行っていこうと思いました。

H26年1月 檀信徒研修道場